

11月の支出(図書、備品、慶弔、飲食は除く)

36,713円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代) 8,242円
交通費(駐車場、燃料代、高速代) 14,866円
通信費(携帯電話代) 13,005円
支出計 06/11/3~06/12/3 36,713円
寄付 Hさん 10,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
06/12/4

第78号
12000部発行

たけまつ ただし
頒布責任者: 武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

2市8町で合併検討!?

県西地域広域市町村圏協議会に検討組織を設置予定!

■2009年度末までに合併の方向性を明らかに

県西地域広域市町村圏協議会では、市町村合併について実際の検討を進め、議論していくことを合意しました。今後は、2市8町で自主的な検討組織を設立し、合併した場合の諸問題を抽出・整理し、合併新法の期限である2009年度末までに合併の方向性について明らかにしていく事になりました。

■神奈川県市町村合併推進審議会が答申

11月27日に、神奈川県市町村合併推進審議会では、県知事に市町村合併についての答申を行いました。その中で県西地域2市8町は「県下で最も合併検討を開始する気運がある圏域」として自主的合併を促す地域と位置付けられています。

■合併する仮定すると……

人口は、19.7万人の小田原市以外は、4.5万人以下の

市町となっており、全体で約36万人となります。

高齢化率は、足柄下郡が全て25%を超えていますが、上郡の開成、大井、中井町は小田原市に比べても低い割合となっており、全体では、**20.4%**になります。

面積は、山北町の224.7km²を筆頭に全体で635.3km²となり、**横浜市の約1.5倍**になります。

議員数は、次期改選時の定数で164名ですが、合併により、**上限が46名**となります。

職員数は、箱根町が430名と人口が3倍の南足柄市よりも多くなっていますが、分散した地域のため消防職員を多く配置しているためです。全体で**3892名**となります。

広域行政は、ごみ処理、し尿処理、消防など組合設置や事務委託など表1の組み合わせで行っていますが、合併することにより組合等を解散させることができます。

裏面に続く→

表1 2市8町の人口・面積・議員・職員・広域行政

	人口 (万人) 06/3/31	65歳以上 (万人) 05/1/1	高齢化 率 (%)	面積 (km ²)	議員 数 (人)	職員 数 (人)	ごみ 処理	し尿 処理	消防	下水道	火葬 場	介護 認定 審査	障害 認定 審査	
小田原市	19.72	3.86	19.6	114.09	30	1909								
箱根町	1.38	0.35	25.2	92.82	16	430								
真鶴町	0.90	0.23	25.2	7.02	12	115	衛生 組合		事務 委託	事務 委託	事務 委託			
湯河原町	2.80	0.71	25.2	40.99	16	350								
南足柄市	4.43	0.95	21.4	76.93	16	417		衛生 組合	消防 組合			介護 認定 審査 会	障害 区分 認定 審査 会	
大井町	1.78	0.26	14.7	14.41	18	154	清掃 組合							
松田町	1.26	0.27	21.1	37.75	14	123								
中井町	1.01	0.18	18.3	20.02	14	116								
山北町	1.29	0.31	24.0	224.70	14	160	清掃 組合							
開成町	1.51	0.26	17.2	6.56	14	118								
合計	36.06	7.37	20.4	635.29	164	3892								

※議員数は次期改選時の定数 職員数は、全会計の人数(病院、水道局も含む)

合併の必要性？

合併議論が、市民の間で全く行われていない事は、その**必要性を多くの市民が感じていない**ということだと思います。

その一方、周辺地域では、箱根町の小中学校統廃合、開成町の小学校新設など人口減や人口増が様々な問題を引き起こしています。

個人的には、現在の小田原でも面積は広いと思っています。例えば安全・安心メールなどで他市町の字名を言われたとしても、どの辺りなのかイメージ

が湧かないのが現実です。

2市8町が合併し、特例市の小田原が中核市になったとすると次の事務が分担されます。

- ・建築確認 ・商店街整備計画の認定
- ・養護老人ホームの設置許可
- ・身体障害者手帳の交付 ・母子相談員の委嘱
- ・医薬品販売業の許可
- ・一般廃棄物処理の許可、指導監督等

中核市になることで増える権限は主に上記の様なものであまり目玉はありません。この機会に

地域の将来について考えてみましょう。

The Voice 今までに頂いたご意見から

自治会役員はどうやって選出されているのですか？ 市内50代 男性

小田原では、デパートが出来たりマンションがったりなど方々から色々な人たちが入り組んで暮らしています。そこで地域を考える最小単位の自治会についてなのですが、小田原市の自治会の役員はどういう方法で選出されているのでしょうか？ なかなかやり手はないと思いますがある日突然だれかが役員になっていたり会長が独断でものを決めたりする事があり一部で物議をかもした話など耳にしています。住民としては、人望のある方に是非なっていたきたいと思うのですが…。

自治会がどういう仕組みになっているかを教えてください。場所によっては自治会の役員は、金銭をもらう場合もあると聞いています。

役員の選出方法は各自治会で異なると聞いています。毎年変わる所や地域順に選出する所など各自治会で異なっています。自治会はあくまでも任意の団体と言う位置づけなのですが、行政の立場と自治会補助金について説明します。

まず、市としては、**住民の責任として自治会に入ってもらうことが前提**です。広報や議会だよりは自治会単位で配布していますが、自治会加入世帯だけに配布している例が多いようです。

自治会は、**災害時に避難所の運営等にも中心的な役割**を持っています。最近は高層住宅も多いのですが、災害時は給水や送電が始まるまでは**高層住宅にお住まいの方が避難所を長期間利用する**はずですので、その地域に住む以上、自治会に入るべきだと思います。

次に自治会に市から交付される補助金ですが、25連合自治会（231自治会）の合計で示します。

自治会連合会単位訓練開催費：1768万円、自治会単位訓練開催費：9万円、
自主防災組織費機材等整備補助金：474万円、地区行政事務委託料：2567万円、
自治会活動推進費補助金：300万円、児童遊園地経費：135万円、
広報委員長報酬（25名）：532万円、広報委員報酬（233名）：2079万円、
自治会配布料：616万円 市全体で8480万円以上のお金が交付されています。

これら補助金と自治会費から、役員報酬を支払っている自治会もあります。

武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

12月の勉強会は

日時：12/23（土）18時～19時

場所：市民学習フロア 学習室B（旧丸井1階ドラッグストア奥のイベントで4階）

テーマ：「**2006年を振り返って**」

参加費：100円 終了後、実費で忘年会を行います。

iモード用HPのQRコード →



<http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで
月刊武松は**本人とボランティアが配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**